

**ABSTRACT**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To attain the proper provision of merchandise or duty and the proper pay-back of price to be paid by providing a deposit institute between seller and buyer and passing through various means. **SOLUTION:** Concerning a money payment and merchandise exchange discrimination system for merchandise buying and selling or duty provision composed of a paid money reception discriminating means by the deposit institute for discriminating the reception of price to be paid from the buyer, number specifying means for specifying a buyer password number, seller password number and account number, deposit institute reporting means, buyer reporting means for reporting and seller confirmation input discriminating means, this system is based on a pay-back means for paying the price back to the seller after the lapse of deposit period when it is discriminated by the seller confirmation input discriminating means and a buyer confirmation input discriminating means that the exchange or the like of payment and merchandise is properly executed.

**CLAIMS**

No Claims were found.

**DESCRIPTION**

Text Not Available.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-187830

(43) 公開日 平成10年(1998) 7月21日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>  
G 0 6 F 17/60  
19/00

識別記号

F I  
G 0 6 F 15/21 3 4 0 A  
15/30 L

審査請求 未請求 請求項の数 8 F D (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平8-358833

(22) 出願日 平成8年(1996)12月27日

(71) 出願人 397000540

鈴木 順一  
宮城県仙台市太白区郡山7-1-8 大泉  
方

(72) 発明者 鈴木 順一

宮城県仙台市太白区郡山7-1-8 大泉  
方

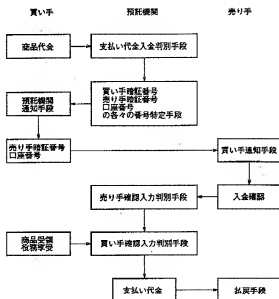
(74) 代理人 弁理士 旦 武尚 (外2名)

(54) 【発明の名称】 商品売買又は役務の提供に関する金銭支払い及び商品引渡し又は役務の提供判別システム及び方法及びプログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 売り手と買い手の間に預託機関を設けて種々の手段を経ることにより、商品又は役務の適正なる提供と支払い代金の適正なる払戻しを図るものである。

【解決手段】 支払い代金を買い手が入金したことを判別する預託機関による支払い代金入金判別手段と、買い手暗証番号・売り手暗証番号・口座番号を特定する番号特定手段と、預託機関通知手段と、通知する買い手通知手段と、売り手確認入力判別手段とからなる商品売買又は役務の提供に関する金銭支払い及び商品引渡し判別システムであって、売り手確認入力判別手段と買い手確認入力判別手段により、入金と商品の受け渡し等が正当に行なわれた場合に、預託期間経過後に売り手へ代金の支払いを行なう払戻手段による。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡しに際しての、買い手と売り手との両者の間にて支払い代金の預託及び支払いと売り手の商品引渡し確認を行い、預託期間経過後に商品代金の払戻を行なう預託機関の商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡し判別システムにおいて、  
預金口座又は預託口座に支払い代金を買い手が入金したことを判別する預託機関による支払い代金入金判別手段と、  
前記預託機関による支払い代金入金判別手段により入金となされたと判別した場合に預託機関が買い手暗証番号を特定し、売り手暗証番号を特定し、口座番号を特定する各々の番号特定手段と、  
前記各々の番号特定手段による番号特定後、買い手暗証番号と売り手暗証番号と口座番号とを各々預託機関から買い手に対して連絡する預託機関通知手段と、  
買い手の商品購入の意思表示のために買い手が売り手に対して売り手暗証番号と口座番号とを通知する買い手通知手段と、  
買い手の口座への入金を売り手が確認したことを預託機関が判別するための売り手確認入力判別手段と、  
売り手からの商品の引渡しを買い手が確認したことを預託機関が判別するための預託機関の買い手確認入力判別手段と、  
預託機関が、支払い代金入金判別手段と売り手確認入力判別手段と買い手確認入力判別手段とにより商品代金の入金と商品の受け渡しが正当に行なわれた場合に限り、一定期間経過後に買い手の預託口座又は預金口座から売り手へ商品代金の支払いを行なう払戻手段よりなることを特徴とする商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡し判別システム。

【請求項2】 買い手の預託口座又は預金口座への入金を売り手が確認したことを預託機関が判別するための売り手確認入力判別手段が、買い手通知手段により通知された売り手暗証番号の売り手による番号変更によるものであると共にこの売り手暗証番号の番号変更により、買い手の預託機関に預託している支払い代金を預託口座又は預金口座からの払戻を禁止する手段を有することを特徴とする請求項1記載の商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡し判別システム。

【請求項3】 買い手の買い手暗証番号を用いた入力により預託期間の延長又は預託期間経過後の売り手に対する商品支払い代金の払戻を禁止する手段を有することを特徴とする請求項1記載の商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡し判別システム。

【請求項4】 商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡しに際しての、買い手と売り手との両者の間にて支払い代金の預託及び支払いと売り手の商品引渡し確認を行い、預託期間経過後に商品代金の払戻を行なう預託機関

の商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡し判別方法において、  
預金口座又は預託口座に支払い代金を買い手が入金したことを判別する預託機関による支払い代金入金判別ステップと、  
前記預託機関による支払い代金入金判別ステップにより入金となされたと判別した場合に預託機関が買い手暗証番号を特定し、売り手暗証番号を特定し、口座番号を特定する各々の番号特定ステップと、  
前記各々の番号特定ステップによる番号特定後、買い手暗証番号と売り手暗証番号と口座番号とを各々預託機関から買い手に対して連絡する預託機関通知ステップと、  
買い手の商品購入の意思表示のために買い手が売り手に対して売り手暗証番号と口座番号とを通知する買い手通知ステップと、  
買い手の口座への入金を売り手が確認したことを預託機関が判別するための売り手確認入力判別ステップと、  
売り手からの商品の引渡しを買い手が確認したことを預託機関が判別するための預託機関の買い手確認入力判別ステップと、  
預託機関が、支払い代金入金判別ステップと前記売り手確認入力判別ステップと前記買い手確認入力判別ステップとにより商品代金の入金と商品の受け渡しが正当に行なわれた場合に限り、預託期間経過後に買い手の預託口座又は預金口座から売り手へ商品代金の支払いを行なう払戻ステップよりなることを特徴とする商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡し判別方法。

【請求項5】 買い手の預託口座又は預金口座への入金を売り手が確認したことを預託機関が判別するための売り手確認入力判別ステップが、買い手通知ステップにより通知された売り手暗証番号の売り手による番号変更によるものであると共に、この売り手暗証番号の番号変更により、買い手の預託機関に預託している支払い代金を預託口座又は預金口座からの払戻を禁止するステップを有することを特徴とする請求項4記載の商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡し判別方法。

【請求項6】 売り手が役務の提供者であり、買い手が役務の提供を受ける者であり、商品が役務の提供であることを特徴とする請求項1乃至5の金銭支払い及び役務提供判別システム又は方法。

【請求項7】 商品売買又は役務の提供に関する金銭対価支払い及び商品引渡し又は役務の提供に際しての買い手と売り手との両者の間にて、買い手の支払い代金の預託及び支払いと、売り手の商品引渡し又は役務の提供の確認を行い、預託期間経過後に支払い代金の払戻を行なう預託機関の商品売買又は役務提供に関する金銭対価支払い及び商品引渡し又は役務提供の判別を行うプログラムを記録した記録媒体であって、  
該プログラムは、預金口座又は預託口座に支払い代金を買い手が入金したことを判別させ、入金となされたと判

別した場合に買い手暗証番号、売り手暗証番号、口座番号の各々の番号を特定させ、

買い手の預金口座又は預託口座への入金売り手が確認したこと売り手確認入力を判別させ、

売り手からの商品の引渡し又は役務の提供を買い手が確認したこと買い手確認入力を判別させ、売り手確認入力の判別と買い手確認入力の判別とにより、買い手の入金及び売り手の商品引き渡し又は役務の提供が行われたと判別された場合に、一定期間経過後に買い手の預金口座又は預託口座から売り手へ商品代金の支払いを可能とする預託機関の商品売買又は役務提供に関する金銭対価支払い及び商品引渡し又は役務提供の判別を行うプログラムを記録した記録媒体。

【請求項8】 支払い代金の払い戻し、売り手暗証キーの入力により正当に行なわれた場合に、預託期間経過後に買い手の預託口座又は預金口座から売り手へ商品代金の支払いを行なう払戻手段又はステップよりなることを特徴とする請求項1乃至7の金銭支払い及び役務提供判別システム又は方法又はプログラムを記録した記録媒体

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、商品取引又は役務の提供に際する預託機関の金銭支払い及び商品引渡し又は役務提供の判別システム、方法及びプログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来技術】 従来までは、商品販売に際する代金の販売支払い及び商品引渡し、或いは役務の提供に際する代金支払い及び役務提供は、商品引き渡し又は役務の提供と代金引き換えを行なうことが最も一般的な取引である。又、買い手が商品の購買意思を売り手に伝えた場合に予め売り手の指示する口座に買い手が商品代金の入金を行い、代金入金確認後に売り手が商品を買手に引き渡す事によってなされていた。或いは、役務の提供前に代金を支払い、その後に役務の提供を受けたもの又は、役務提供後にその代金を支払う形式を採るもの一般的なものである。

【0003】 併せて、コンピュータ通信等における商品販売に関しては予め買い手が自らのクレジットカードや銀行口座の番号を売り手に示し代金の引き落としの準備後に商品の引き渡しとクレジットカードや銀行口座からの代金引き落としをなすものである。また、これらの商品売買に限らず役務の提供例えばインターネット上の情報の提供等に関しても情報の提供を受けた後に支払いの請求がなされ、その請求に基づいて支払いを行なうものである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 まず、通信販売やコンピュータ通信等における商品販売又は役務の提供にあ

つては、現物と代金の現地引き換えは困難である。この場合、買い手が予め売り手の指示する口座に商品又は役務の代金の入金を行った場合には、後日商品が買い手に届かない場合や、適正なる役務の提供がなされない場合がでてしまっている。反面、先に商品を送った場合や役務の提供を与えた場合であっても、後日代金の支払いがなされない場合もある。特に、コンピュータ通信等においては買い手が自らのクレジットカードや銀行口座の番号を売り手に示すことが必要であり、商品の引き渡しや役務の提供前に代金のみ引き落され、商品自体の引き渡しや役務の提供がなされない場合もある。

【0005】 また、このコンピュータ通信等においては、クレジットカードや銀行口座の番号を悪用される事もあり得る。従って、今後特に増加するコンピュータ通信等のような通信機器を用いた役務の提供や商品販売などに際して、商品売買や役務の提供が適正に行なわれる何らかの手段が望まれる。又、今後多用されるであろう電子マネーに関しても金銭的価値を有する数値を持って、商品売買や役務の提供の代金支払いが行なわれることが予想されるが、代金引き換えの現金取引を行なわないことから、商品売買又は役務提供に関する金銭対価支払い及び商品引渡し又は役務提供が正しく行なわれるための何らかの手段が望まれる。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明はかかる欠点を解消し、商品売買または役務の提供における支払い代金の適正なる確保及び商品の適正なる引き渡し、役務の適正なる提供を図る事により、適正なる取引を行なうため、先ず請求項1乃至請求項7記載の発明は、基本的には商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡しに際しての買い手と売り手との両者の間に支払い代金の預託及び支払いと売り手の商品引渡し確認の後預託期間経過後に商品代金の払戻を行なう預託機関による支払い代金判別手段又は商品引渡し判別システム又は方法において、預金口座又は預託口座に支払い代金を買い手が入金したことを判別する預託機関による支払い代金判別手段又はステップと、前記預託機関による支払い代金入金判別手段又はステップにより入金があったと判別した場合に預託機関が買い手暗証番号を特定し売り手暗証番号を特定しかつ口座番号を特定する各々の番号特定手段又はステップと、前記各々の番号特定手段又はステップによる番号特定後買い手暗証番号と前記売り手暗証番号と前記口座番号とを各々預託機関から買い手に対して連絡する預託機関通知手段又はステップと、買い手の商品購入の意思表示のために買い手が売り手に対して売り手暗証番号と口座番号とを通知する買い手通知手段又はステップと、買い手の預金口座又は預託口座への入金を売り手が確認したことを預託機関が判別するための売り手確認入力判別手段又はステップと、売り手からの商品の引渡しを買い手が確認したことを預託機関が判別する

ための預託機関の買い手確認入力判別手段又はステップと、預託機関が支払い代金入金判別手段又はステップと売り手確認入力判別手段又はステップと買い手確認入力判別手段又はステップとにより商品代金の預金口座又は預託口座への入金と商品の受け渡しが正当に行なわれた場合に、預託期間経過後に買い手の預金口座又は預託口座から売り手へ商品代金の支払いを行なう払戻手段又はステップとによる商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡し判別システム又は方法を用いることにより達成できる。

【0007】次に請求項6の発明は前記した本発明の基本的な発明にあって、役務の提供に際する役務の提供に際する金銭支払い及び役務提供判別システム又は方法であり、本発明によっても前記した目的を達成できる。

【0008】又、請求項7記載の発明は商品売買又は役務の提供に関する金銭対価支払い及び商品引渡し又は役務の提供に際しての買い手と売り手との両者の間にて買い手の支払い代金の預託及び支払いと売り手の商品引渡し又は役務の提供の確認を行い、預託期間経過後に支払い代金の払戻を行なう預託機関の商品売買又は役務提供に関する金銭対価支払い及び商品引渡し又は役務提供の判別を行うプログラムを記録した記録媒体であって、該プログラムは預金口座又は預託口座に支払い代金を買い手が入金したことを判別させ、入金がなされたと判別した場合に買い手暗証番号、売り手暗証番号、口座番号の各々の番号を特定させ、買い手の預金口座又は預託口座への入金を売り手が確認したこと、売り手確認入力を判別させ、売り手からの商品の引渡し又は役務の提供を買い手が確認したこと、買い手確認入力を判別させ、売り手確認入力の判別と買い手確認入力の判別により、買い手の入金及び売り手の商品引き渡し又は役務の提供が行われたと判別された場合に、一定期間経過後に買い手の預金口座又は預託口座から売り手へ商品代金の支払いを可能とする預託機関の商品売買又は役務提供に関する金銭対価支払い及び商品引渡し又は役務提供の判別を行うプログラムを記録した記録媒体であり、本請求項7にかかる発明であるプログラム記録媒体を用いることにより、前記目的を達成する事ができる。

【0009】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を説明するに、図1は本発明の概略図であり、買い手及び売り手及び預託機関における商品売買に関する金銭支払い及び商品引渡し判別システムである。まず、買い手は購買希望商品の商品代金を預託機関に入金する。この入金によって預託機関は、支払い代金入金の判別手段により買い手より入金があった事を確認する。これにより、先ず支払い代金の支払いの基礎を確保するものである。この場合に図1においては、預託機関に代金の入金を行なうが、これ以外に通常の金融機関に例えば銀行口座を作成し、この銀行口座に買い手は入金を行う。この後、買い手が

預託機関に預託用の預託口座を作成することによって買い手より入金があった事を確認するものであってもよい。或いは、預託機関が金融機関と連携をとって、銀行口座内に入金を確認した後預託機関に連絡をとるものであってもよい。

【0010】次に、上記支払い代金入金の判別手段により、支払い代金の入金を確認した場合に預託機関は買い手暗証番号と売り手暗証番号と口座番号の各々の番号を番号特定手段により特定する。この買い手暗証番号は、買い手の預託口座に対する手続番号であり、売り手暗証番号は売り手の口座に対する手続番号である。口座番号は預託金が預託されている口座の番号である。従って預託機関の特定の口座であってもよく、又は特に金融機関などの銀行口座などに支払い代金がプールされている場合は、この銀行口座番号を預託のための口座番号としてもよく、或いは特に銀行口座とは別途、特に本システムを運用するための特別な預託口座の口座番号を銀行口座とは別途特定してもよい。これらの各番号は、特に一回の取引においてのみ使われる事が最も安全であるが、これに限らず、例えば買い手が同一人の場合には買い手暗証番号や、買い手と売り手が同じ場合には買い手暗証番号と売り手暗証番号を異なる取引においてそのまゝ用いるものであってもよい。併せて買い手の口座番号に用いても一定の買い手に対しては同一の口座番号を用いるものであってもよい。即ち同一の口座番号に関し、同一人の前回の番号を再び特定するものであってもよい。

【0011】次に、これらの各番号は、先ず買い手に通知される預託機関通知手段によって、買い手に連絡される。この各番号の通知により、買い手は商品の支払い代金が正当に預けられかつ口座内にプールされていることを確認できる。次に、買い手は売り手に対して商品の購買意思がある事及び正当な支払いの準備があることを示す為に、売り手に対して売り手暗証番号と口座番号を通知する買い手通知手段によって連絡される。次に買い手通知手段によって売り手暗証番号と口座番号とを連絡された売り手は、買い手の存在及び買い手の購買意思及び口座番号が明確なものであり、また売り手暗証番号により、口座内に正当な商品代金が預託されていることを見ることによって明確になる。

【0012】売り手は売り手暗証番号を用いて預託機関に対して正当な支払い代金の入金があった事を示す為に入力を行なう。なお、売手により売り手暗証番号を変更することによって、売り手が支払い代金の預託を確認したことを預託機関に対しての入力としてもよい。併せて、売手による売り手暗証番号の変更が、買い手による買い手暗証番号を用いた商品代金の支払い機能を禁止する手段を有するものであってもよい。これにより、買い手による本商品取引の支払い代金の不法引き出しを防止できる。

【0013】売り手は、上記の入金を確認した後買い手に対して商品を引き渡す。買い手は、商品を受領後正当な商品が否かの確認の後、買い手暗証番号を用いて商品の受領の確認を預託機関に示すための入力を行う。預託機関により、支払い代金入金の判別手段により買い手より入金のあった事を判別し、売り手確認入力判別手段により売り手の正当な支払い代金の入金があった事を確認した入力を判別し、買い手確認入力判別手段により買い手の商品を受領の確認の入力を判別することにより、全て正しく行われた場合には、預託期間経過後に売り手の売り手暗証番号又は変更した売り手暗証番号を用いた売り手に対して商品支払い代金の払戻を行うものである。

【0014】この場合に、売り手からの入力が売り手確認入力判別手段により、確認されない場合には、買い手の買い手暗証番号による払戻のみ認められ、売り手に対しては支払いが行われない。また、買い手からの入力が買い手確認入力判別手段により確認されない場合には、預託期間経過後に支払い代金の支払いを売り手に対して行なう。これに対して、買い手が売り手から商品を受けとらない場合や不良品を受領した場合には買い手暗証番号を用いて前記預託期間の延長または支払いの停止ができる。

【0015】支払い代金の払戻しに際して、買い手の支払っている代金は預託機関の管理の下プールされており、上記払戻しに際して、預託口座にプールしている場合には、その口座よりの支払いを、また他の関連金融機関の預金口座などにプールしている場合には、対象金額のみの払戻しを行なうものである。以上の過程によるシステムを用いることにより、預託機関を介在させて売り手と買い手間における正当な商取引を達成し得るものである。

【0016】次に、請求項4乃至5の発明は、前述の発明に関して方法の発明として用いる場合である。即ち、預金口座又は預託口座に支払い代金を買い手が入金したことを判別する預託機関による支払い代金入金判別ステップにより、買い手の支払いの資金のプールを確かめる過程により、商品取引についての支払いを確保したことを判別する。

【0017】次に預託機関による支払い代金入金判別ステップにより入金がなされたと判別した場合に預託機関が番号特定ステップにより、買い手暗証番号を特定し、売り手暗証番号を特定し、口座番号を特定する。これにより、以後の手続きの特定を図るものである。

【0018】次に、番号特定ステップによる番号特定後、買い手暗証番号と売り手暗証番号と口座番号とを各々預託機関から買い手に対して連絡する預託機関通知ステップにより、通知する。売り手と買い手の両者間における各々の確認を行う便宜のためであり、今後の売り手と買い手の確認したことの判別を行う基礎とするためである。

ある。

【0019】次に買い手の商品購入の意思表示のために買い手が売り手に対して売り手暗証番号と口座番号とを通知する買い手通知ステップをとる。これは、買い手は支払い代金を預託口座又は預金口座に振り込み又は預け入れることにより、商品取引に際する支払い代金の支払い準備を終了し、売り手に対して売買の意思のある事を示すためである。売り手は、買い手よりかかるステップにより、売り手暗証番号と口座番号を通知されることにより、売り手の手続が行なえるものである。尚、具体的な商品等の特定に関しては別途買い手から売り手に示すものであればよい。

【0020】このステップの後、買い手の預金口座又は預託口座への入金を売り手が確認したことを預託機関が判別するための売り手確認入力判別ステップにより、売り手の確認を判別する。これに対して買い手は、売り手からの商品の引き渡しを受けた事を確認した場合に確認のための入力を行う。この入力を預託機関が判別するため預託機関の買い手確認入力判別ステップにより確認を行なう。

【0021】次に、売り手と買い手の間で正しく商品売買が行なわれたことを確認するため預託機関が支払い代金入金判別ステップと売り手確認入力判別ステップと買い手確認入力判別ステップとにより商品代金の預金口座又は預託口座入金と商品の受け渡しとが正当に行なわれたかを判別する。これにより、売り手と買い手間における取引が代金の売り手に対する支払いを除いて正しく行なわれたかを預託機関が判別し、正しく行なわれたと判別した場合に限り、預託期間経過後に預託機関が買い手の預金口座又は預託口座から売り手へ商品代金の支払いを行う払戻ステップに進む。

【0022】預託機関は、直接この支払いを行うものである。また預託機関から金融機関に連絡を行ない金融機関の預金口座等からの支払いを認めるいわゆる預託機関が間に入って商品代金の支払いを行うものであっても当然に含まれる。なお、売り手確認入力判別ステップが、買い手通知ステップにより通知された売り手暗証番号の売り手による番号変更による方法であるものであってもよい。これは前述のシステムとして発明と同様に売り手暗証番号の番号変更により、買い手の口座からの払戻を禁止するステップを有するものであってもよい。これにより、売り手への支払い代金に対して、買い手の勝手な引き落としを防止する事ができる。なお、買い手側が即時支払いの意思がある場合は、買い手側暗証キーを売り手に渡すことにより売り手が買い手暗証キーを入力でき支払い代金の受けとりができる。買い手暗証キーの入力が確認されない場合であっても預託期間経過後に売り手に対して支払い代金の払い戻しができるものであってもよい。取引の安全を確保するために売り手に対しての支払いを確保するものである。

【0023】次に請求項6の発明は、請求項1乃至請求項5の発明について商品に代わって役務である場合であって、売り手が役務の提供を受けるものであり、買い手が役務の提供を受けるものである場合の発明である。この場合に役務とは、労働などによる労務であり、直接的な労力に限らず、例えば人以外のものによる活動又は起動などによって得られる労力、又は労働等によって得られた結果物であって商品には含まれないものをいう。例えば、コンピューター上の情報やコンピューター通信の使用料、各種の委託行為などが該当する。このような役務例えば情報料金の支払いなどに関して、情報のみを受けてしまえば、買い手の行為は終わってしまうが、この場合に関しても売り手と買い手間の商取引の適性を図る上で、預託機関を介在させて判別させ、適正なる商取引を図るものである。従って、買い手は正規の料金を予めプールし、かつ売り手は適正なる役務を提供しかつ料金の支払いを受けられるものであって、買い手の支払い代金の未払いを防止できると共に、売り手の正当なる役務の提供が図れるものである。

【0024】最後に請求項7の発明は、上記した請求項1乃至請求項6の各発明に関しての金銭対価支払い及び商品引渡し又は役務提供の判別に際して、その判別をコンピューターにより行なう場合のプログラムを記録した記録媒体の発明である。即ち商品売買又は役務の提供に関する金銭対価支払い及び商品引渡し又は役務の提供に際しての買い手と売り手との両者の間にて、買い手の支払い代金の預託及び支払いと、売り手の商品引渡し又は役務の提供の確認を行い、預託期間経過後に支払い代金の払戻を行なう預託機関の商品売買又は役務提供に関する金銭対価支払い及び商品引渡し又は役務提供の判別を行うプログラムを記録した記録媒体に関するものである。

【0025】この場合において該プログラムは、まず、預金口座又は預託口座に支払い代金を買い手が入金したことを判別させるものである。支払い代金の入金を行なったか否かの判別をなし、入金を行なったと判別した場合には次の過程に進む。即ち入金がないと判別した場合には、この段階で止まるが、入金がなされたと判別した場合に買い手暗証番号、売り手暗証番号、口座番号の各々の番号を特定させる。これらの買い手暗証番号、売り手暗証番号、口座番号は前記した請求項1乃至6のものと同様である。

【0026】この特定の後、各番号は買い手に通知されるが、買い手はこの通知を受けた後売り手に対して例えば、売り手暗証番号と口座番号を連絡する。これにより買い手の意思を売り手に伝える事が可能である。売り手

は、入金の確認をとるものであるが、この場合も預託機関による判別を行うために、買い手の預金口座又は預託口座へ入金と売り手が確認したことと売り手確認入力を判別させるものである。売り手は、代金がいよいよ預託されていることを確認したことを判別するものである。これに対して、買い手は売り手からの商品の引渡し又は役務の提供を受けるが、この商品の引渡し又は役務の提供を適正に受けなければ代金の支払いは不要であり、反面、商品の引渡し又は役務の提供を適正に受けた場合は、代金の支払いが必要である。

【0027】従って、適正に商品の引渡し又は役務の提供を適正に受けた事を買い手が確認したことと明示を預託機関にする事が必要である。これは買い手の買い手確認入力によって行なうが、買い手確認入力を判別させる事により行う。上記の売り手確認入力、買い手確認入力をそれぞれ判別し、それぞれがあったと判断した場合には、一定期間経過後に買い手の預金口座又は預託口座から売り手へ商品代金の支払いを可能とするものである。買い手確認入力が判別されず、売り手確認入力が判別されなかった場合には、未だ商品が買い手に届かないか或いは不良品の配布のみの場合であり、この時点での払戻はできない。即ち、買い手の確認ができない以上、買い手からの支払いの必要はない。

【0028】次に買い手確認入力が判別され、売り手確認入力がなされないと判別した場合には、適正なる代金が預託されていないものであり、この時点での支払い代金の払戻はできない。通常、この様な場合は例えば売り手が入金の確認をせずに商品等をひきわたした状態を示すものであり、取引上売り手が確認した後に商品の引き渡し等を行えばかかる状態はされれるものである。この場合であっても、買い手は預託した代金の支払いができないものであれば、少なくともその金額に関しては差し押さえる事は可能である。

【0029】売り手確認入力の判別と買い手確認入力の判別とに双方の入力があると判別された場合に、一定期間経過後に買い手の預金口座又は預託口座から売り手へ商品代金の支払いを可能とするものである。この場合に一定期間としたのは、両者の入力の確認後支払いを行うための準備期間をい、この期間だけに限らず予め取引上の不都合を是正するための期間をも含めるものであってもよい。以上のように本発明においては、適正なる取引を図るためのものであり、今後多用されるであろう電子マネーの取扱いにあっても十分その機能を発揮できるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の概略図

【図1】

